

エクセルの日付入力関連 コツ一覧



※当ガイドに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。

【時短入力編】 一瞬で日付・時刻を入力する

【時短入力編】一瞬で日付・時刻を入力する

手入力はいもう不要！ショートカットキーとオートフィルを使いこなし、入力作業を劇的に速くします。

1. ショートカットキー（入力した瞬間に確定）

内容	ショートカットキー	実行結果（例）
今日の日付を入力	Ctrl + ; （セミコロン）	2025/10/21
現在の時刻を入力	Ctrl + : （コロン）	10:13

2. オートフィル（連続データの自動入力）

セルの右下の小さい■（フィルハンドル）をドラッグするだけで、連続した日付を簡単に入力できます。ドラッグ後に表示される「オートフィル オプション」で、さらに細かく指定可能です。

- **日単位**：10/21, 10/22, 10/23...
- **週日単位**：土日を除く日付（10/24（金）→10/27（月））
- **月単位**：10/21, 11/21, 12/21...
- **年単位**：2025/10/21, 2026/10/21...

【表示形式編】 日付の「見た目」を自由自在に

【表示形式編】日付の「見た目」を自由自在に

日付データの実態は「シリアル値」（数値）です。セルの書式設定を変えるだけで、データ自体を書き換えずに「見た目」だけを自由に変更できます。

操作方法：セルを選択し、**Ctrl + 1** (セルの書式設定) > 「表示形式」タブ > 「ユーザー定義」

表示したい形式	「ユーザー定義」の入力コード
2025/10/21	yyyy/m/d
10月21日	m"月"d"日"
2025年10月	yyyy"年"m"月"
(火)	(aaa)
火曜日	aaaa
令和7年	ggge"年"

応用: TEXT関数

「日付」と「曜日」を同じセルに結合して表示したい場合は TEXT 関数を使います。

※A1が 2025/10/21 というシリアル値の場合

=TEXT(A1, "yyyy/m/d (aaa)")
→ 結果: 2025/10/21 (火)

【日付計算編】 日数や期限を自動で算出

【日付計算編】 日数や期限を自動で算出

日付が数値（シリアル値）だからこそ、Excelは計算が得意です。よく使う計算テクニックをマスターしましょう。

計算したい内容	使う関数・数式	具体例
日数を計算する	単純な引き算	= <code>"2025/10/31"</code> - <code>"2025/10/21"</code> → 結果： 10
土日を除く営業日数を計算	<code>NETWORKDAYS</code>	= <code>NETWORKDAYS(A1, B1, [祝日リスト])</code> A1(開始日)とB1(終了日)間の営業日を計算
○営業日後の日付を計算	<code>WORKDAY</code>	= <code>WORKDAY(A1, 5, [祝日リスト])</code> A1(開始日)の5営業日後の日付を算出
日付から「年」「月」「日」を抽出	<code>YEAR</code> , <code>MONTH</code> , <code>DAY</code>	= <code>YEAR(A1)</code> → 2025 = <code>MONTH(A1)</code> → 10 = <code>DAY(A1)</code> → 21※A1が 2025/10/21 の場合
自動で更新される今日の日付	<code>TODAY()</code>	= <code>TODAY()</code> ファイルを開くたびに「今日」の日付に自動更新

【自動化・活用編】 日付を使って「見える化」する

【自動化・活用編】日付を使って「見える化」する

日付を入力するだけでなく、自動で色を付けたり、入力ミスを防いだりする応用テクニックです。

1. 条件付き書式（自動で色を塗る）※[ホーム] タブ > [条件付き書式]

例①：「土曜日」に青、「日曜日」に赤色を塗る

WEEKDAY関数を使い、`=WEEKDAY($A1,2)=6` (土曜)、`=WEEKDAY($A1,2)=7` (日曜) という数式ルールを設定します。

例②：「今日」より前の日付（期限切れ）を赤くする

「指定の値より小さい」ルールを選び、`=TODAY()` を設定します。

2. 入力規則（入力ミスを防ぐ）※[データ] タブ > [データの入力規則]

例①：「日付」しか入力できないように制限する

入力の種類で「日付」を選択し、開始日と終了日（例: 2025/1/1 から 2025/12/31）を指定します。
これにより、あり得ない日付（例: 10/40）やテキストの入力を防げます。

【免責】

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。

※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。また当資料は、公開日時点の内容となっております。最新の情報、実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。